

セ・ミ・ナ・ー・報・告



女子高校生 理工系チャレンジ支援セミナー「リコ・チャレ・ぐんま 2017」

リコチャレは、女性の進出が少ない理工系分野の魅力  
を女子高生に伝えるため、県内企業、群馬大学理工学部  
及び県教育委員会と連携して、毎年実施しています。

今回は、県立館林女子高校の生徒及び保護者を対象に  
企業訪問、講演会、講義と実験を行いました。

●第1回 8/3(木)

(株)シーエスラボ館林工場を  
訪問。  
工場見学、女性技術者との座  
談会、ハンドクリーム手作り  
体験 (参加者：生徒14人)



●第2回 9/12(火)

講演会  
「理工系女子の活躍最前線！」  
講師：板橋英之教授(群馬大学  
大学院理工学部) (参加者：生  
徒239人、保護者112人)



板橋講師

●第3回 10/21(土)

講義と実験  
「渡良瀬の銅を調べよう！」  
講師：板橋英之教授(群馬大  
学大学院理工学部) (参加者：生徒18人)



◎アンケートから

- 女性技術者の方が気さくで、話していて楽しかった。(第1回)
- 学生時代の勉強や就職活動についての体験談が聞けて良かった。(第1回)
- 親としても働くこと(授業料の捻出)に対するやる気が高まった。(第2回：保護者)
- 理工学部もいいなと思った。次のオープンキャンパスに行こうと思った！(第2回：生徒)
- 理工のイメージが変わった。入ってみたいと思う。(第2回：生徒)
- 理工学部の方もおもしろいと思った。(第3回)
- 理系にも興味が持てた。(第3回)

平成29年9月16日(木)

☆桐生市と共同開催☆

『災害から自分と家族を守るコツ！』  
(講義と自治会長ゲーム)

全3部構成。

【第1部】講義…日頃、家庭内や地域で何をしておけばよいか、自助・共助・公助などについて。

【第2部】「自治会長ゲーム」の体験…参加者それぞれが「自治会長」となって他の参加者と会話しながら避難所運営に役立つ特技や経験を持っている人を探す。

【第3部】講義…被災生活における問題・傾向と解決について、男女共同参画の視点から考える。

(会場、桐生市市民文化会館、

参加者：51人)

講師：赤羽潤子さん(日本防災士会群馬県支部副支部長)、

小林良江さん(県立女子大学教授(当時)。現学長)



赤羽講師

小林講師



◎アンケートから

- 地域での協力や役割の大切さがわかった。(第1部)
- コミュニケーションを取る大切さがわかったが、大変。(第2部)
- 避難所での女性の生活の声が大切だと感じた。(第3部)

☆市との共同開催について

ぐんま男女共同参画センターは、今までセンターを会場として行っていた主催事業(講座)の一部を、今年度から、県内全域における男女共同参画意識の醸成を目的に、市等と連携し、地域に出て実施しています。

平成29年10月15日(日)男性のための介護セミナー  
「介護離職を考える前に知っておきたいこと  
～家族が認知症かな?と思ったときに～」

身近なところで認知症に直面する可能性は誰にでもあります。「家族が認知症かな?」と思ったとき、慌てて離職しないための講座を、県地域包括ケア推進室と共催で開催しました。

本講座は「認知症サポーター養成講座」を兼ね、受講修了者には「オレンジリング」が手渡されました。

(参加者：15人)

講師：神山智子  
(県地域包括ケア推進室  
認知症専門官)



◎アンケートから

- 認知症の方への接し方がわかった。
- 勉強になった、反省もした。
- 介護について考えるきっかけになった。



☆渋川市と共同開催☆

○はっぴー♡きやりあスキルアップ・セミナー

県立女子大学国際コミュニケーション学部教授の安齋徹先生による参加型のセミナー。楽しいワークショップを通して様々な“力”をアップさせる講座を開催しました。

平成29年9月2日(土)

「周囲も貴女もハッピーになるコミュニケーション術」

(会場：渋川市北橋公民館、  
参加者：14人)

◎アンケートから

- 聞き上手になり、ほめたい。
- アサーションを活かしたいと思う。
- 学んだコミュニケーション術を思い出し、就活に活かしたい。
- 家族内での会話のヒントになった。

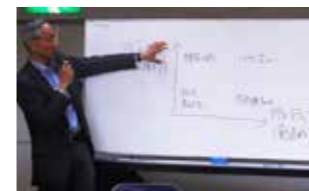


安齋講師

平成29年11月12日(土)

「創造力がメキメキ伸びる □い頭を○くする方法」

(会場：渋川ほっとプラザ、参加者14人)



安齋講師



「今の自分」を表現しよう

◎アンケートから

- ただ“聞く”だけではなく“参加”する事で楽しく学べた。
- これからは、何か課題が出てきたときに少し違う視点からも考えられると思う。
- 今日のセミナーで気付いた事、学んだことをプラスにして前に進みたい。



まめ知識 男性の家事・育児は  
少子化を救う!?



子どもがいる夫婦では、「夫の休日の家事・育児時間」が増えると「第2子以降の出生率」が大きく増加しています(右グラフ参照)。

仕事と育児の両立支援施策等の充実が重要なことはもちろんですが、個々の男性の家事・育児参画の度合いも、少子化を救う大きなカギを握っていることが伺えます。

なお、結婚する意思のある未婚女性が、結婚相手に求める条件として考慮・重視するのは、「人柄」(98.0%)、「家事・育児の能力」(96.0%)、「経済力」(93.3%)、「仕事への理解」(93.2%)などです(複数回答)。わずかではありますが「家事・育児の能力」が「経済力」を上回っています。(出典：2015年 社会保障・人口問題基本調査(結婚と出産に関する全国調査))

平成29年10月14日(土) 日本政策金融公庫前橋支店と共催

とらいあんぐるんサロン第2回  
「夢を持つ女性のための交流会～創めの一歩～」

日本政策金融公庫前橋支店、県商政課と共催で開催。自分のお店を持っている人、これから何か始めたいと思っている人などが集まり、グループで楽しくお喋りをしながら「夢への第一歩」を探しました。(参加者：17人)



◎アンケートから

- 色々な意見が聞けて参考になった。
- 沢山のヒントがもらえた。
- 様々な分野の人と知り合うことができた。
- 仕事をしていく上での心構えや、リーダーを作るためのヒントがもらえた。



進行役の田村支店長

女性向け交流会

参・加・者・募・集

とらいあんぐるんサロン第3回

「世界一優しいヘッドスカーフ  
～ピンチ宮チャンスに変える方法教えます～」

「髪の毛を失ってもおしゃれを楽しんで外に出かけたい!」髪を失ったピンチを起業するチャンスに変えた角田さんのお話を一緒に聞いてみませんか?



日時 平成30年

2月24日(土)

13:30～15:30

講師 角田真住さん

合同会社 Armonia 代表

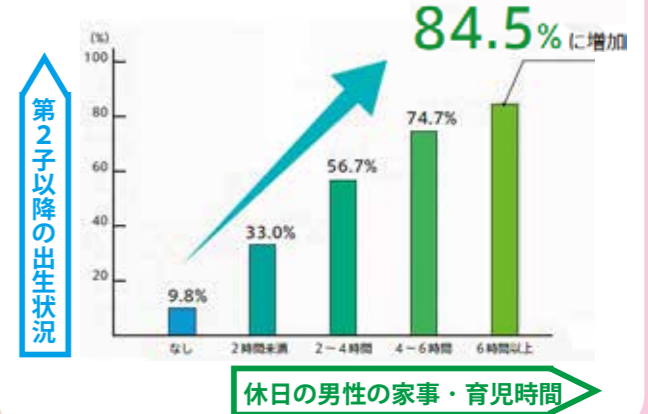
対象 女性

参加費 無料

定員 30人(先着順)

申込み 当センターまで

(単位：万人)



男性の家事・育児参画コンセプトポスター(内閣府男女共同参画局)(<http://www.gender.go.jp/public/conceptposter/index.html>)を加工して作成